

## 第7章 総合評価



## 第7章 総合評価

計画段階配慮事項として、1 大気質（焼却場の稼働）、2 景観（焼却場の存在）の2要素を選定し予測・評価した結果、ともに重大な環境影響は生じないものと評価する。

また、大気質については、複数案における明確な傾向はみられなかったが、景観について、煙突高さの決定に際しては、対象事業実施想定区域が、薬師寺、唐招提寺が位置する西ノ京エリアにあることを踏まえておく必要がある。

総合評価は表7-1に示すとおりである。

表7-1(1/2) 総合評価（大気質（焼却場の稼働））

複数案	煙突高さ(m)		
	50	59	70
総合評価	<p>各予測項目ともに、最大着地濃度は、煙突高さ50mが煙突高さ59m、70mに比べ高くなる傾向がみられた。ただし、いずれもバックグラウンド濃度に比べ低く、将来濃度（年平均値）はバックグラウンド濃度と同程度の値となり、複数案間の影響の程度の差は小さいものと評価した。</p> <p>なお、煙突高さ50mの場合にあつて、いずれの予測項目においても環境基準等を下回ると評価され、重大な環境影響はないものとする。</p>		

表7-1(2/2) 総合評価（景観（焼却場の存在））

複数案	A案 (リサイクル施設：無) 煙突高さ：50m, 59m, 70m	B案 (リサイクル施設：有) 煙突高さ：50m, 59m, 70m
	総合評価	<p>予測地点のうち、いずれの案であっても眺望景観が変化し、圧迫感を受けるようになるものと考えられる地点が存在するが、周辺環境や土地利用との調和を図り、景観の保全等に配慮することにより、重大な環境影響はないものとする。</p> <p>煙突高さについては、圧迫感を受けるようになる地点があり、山の稜線を越える場合もみられた。煙突高さの決定に際しては、対象事業実施想定区域が、薬師寺、唐招提寺が位置する西ノ京エリアにあることを踏まえておく必要がある。</p>